

令和3年度徳島県立鳴門渦潮高等学校「進化する教室イノベーション事業」  
に係る授業動画の公開について

実施要項

1 目的

本校では、令和3年度から「進化する教室イノベーション事業」実施校として、電子黒板等のICTを活用した授業を日常的に実践しています。その取組の成果を検証するとともに、成果の普及を図ることを目的として授業動画を公開します

2 公開方法 オンデマンド配信( [https://narutouzushio\\_hs.tokushima-ec.ed.jp](https://narutouzushio_hs.tokushima-ec.ed.jp))

3 公開期間 令和4年3月22日(火)から令和4年3月31日(木)

4 動画を公開する教科・科目・学年

(1) 理科(科学と人間生活・1年)

H R	1 1 HR	実施教室	1 1 HR 教室
科目(単元)	科学と人間生活(熱容量と比熱)		
ICTを活用する目的(ねらい)	① 材質の不明な金属の物体の比熱を求める実験の方法をわかりやすく説明するためにICTを活用する。 ② 測定結果を全体で共有するためにICTを活用する。		
具体的な活用方法	① 実験の様子をタブレットで撮影し、器具の使い方や実際の測定の様子を見せる。 ② 測定数値をリアルタイムで見せ、データを共有する。		
活用場面	導入・ <span style="border: 1px solid black;">展開</span> ・まとめ	使用時間	計 3 分 程度

(2) 保健体育(保健1年)

H R	1 3 HR	実施教室	1 3 HR
科目(単元)	保健(欲求と適応機制)		

ICTを活用する目的 (ねらい)	① 板書をノートに書く作業を少なくして、黒板と説明に意識を集中させるためにICT機器を活用する。 ② 教科書の図や実際の写真などを紹介して、よりわかりやすくするためにICT機器を活用する。		
具体的な活用方法	① 大事なキーワードを図や動画でわかりやすく説明する。 ② 言葉の説明だけでなく、写真などを拡大して大きな画面で見せて説明する。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	使用時間	計 45 分程度

(3) 福祉 (コミュニケーション技術・2年)

H R	23・24・25HR	実施教室	選択教室8
科目(単元)	コミュニケーション技術 (カウンセリングの技法)		
ICTを活用する目的 (ねらい)	① 来談者からの相談に乗る際に必要となる技法について、ICTにより先輩の実演を見ることでイメージしやすくする。 ② 対面による生徒同士の活動の代わりにICT機器を活用する。		
具体的な活用方法	① カウンセリングの技法を、実演により説明する。 ② 生徒は対面での活動をイメージしながら、説明を見る。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	使用時間	計 30 分程度

(4) (数学I・1年)

H R	16HR	実施教室	16HR教室
科目(単元)	数学I (データの相関)		
ICTを活用する目的 (ねらい)	① 表計算ソフトを使って、2つの変数の関係を散布図で表すためにICT機器を活用する。 ② 相関係数を計算して求める方法を、表を使って説明するためにICT機器を活用する。		
具体的な	① 表計算ソフトの機能を使って、散布図や近似曲線を見せる。		

活用方法	② 相関係数や標準偏差などの計算は、表計算ソフトを利用すると便利であることを説明する。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	使用時間	計 30分 程度

(5) 国語 (国語表現・2年)

H R	23・24・25・26HR	実施教室	24HR教室
科目(単元)	国語表現 (俳句・短歌を作る)		
ICTを活用する目的 (ねらい)	① 動画を鑑賞した後、視覚・聴覚を生かした俳句を作るために ICT 機器絵を活用する。 ② 動画視聴後に静止画を残しておくために ICT 機器絵を活用する。		
具体的な活用方法	① 電子黒板を用いて、動画を視聴する。 ② 電子黒板に静止画がある状態で、班の代表作品を順に書いていくことで生徒と教員が批評し合う。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	使用時間	計 50分 程度

(6) 工業 (工業技術基礎・2年)

H R	23・24・25・26HR	実施教室	通信実習室
科目(単元)	工業技術基礎 (ハンダ付け実習)		
ICTを活用する目的 (ねらい)	① ハンダ付けを実際に行っているところを、拡大してみせるために ICT 機器を活用する。 ② 小さな部品等の説明のために、ICT機器を活用する。		
具体的な活用方法	① ハンダ付けをしている手元を、拡大して見せる。 ② 部品を拡大して大きな画面で見せて説明する。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	使用時間	計 30分程度

(7) 家庭 (家庭基礎・1年)

H R	1 1 HR	実施教室	1 1 HR
科目(単元)	家庭基礎 (健康につながる食事計画)		
I C Tを活用する目的 (ねらい)	① 献立作成の過程を ICT 機器を活用しながら説明する。 ② グループでの考えを ICT を使って発表する。		
具体的な活用方法	① 食品群別摂取量の目安をもとにした献立作成を例を示しながら、拡大して見せるために ICT 機器を活用する。 ② グループで考えた一日分の献立を ICT に示しながら、分かりやすく発表する。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	使用時間	計 5 分 程度

(8) 英語 (コミュニケーション英語Ⅱ・2年)

H R	2 3 ・ 2 4 ・ 2 5 ・ 2 6 HR	実施教室	2 6 HR
科目(単元)	コミュニケーション英語Ⅱ (Lesson 8)		
I C Tを活用する目的 (ねらい)	① Power Point で作成したワークシートを画面に映して説明するために I C T 機器を活用する。 ② 文法や単語の意味などを電子黒板に書いて説明するために I C T 機器を活用する。		
具体的な活用方法	① 生徒用のワークシートと同じものを power point で編集したものの画面に映して説明する。 ② 重要箇所は電子黒板にペンで書き込んだり、着色して説明する。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	使用時間	計 3 0 分 程度